

シリーズ指定管理者

昨年4月から風の博物館・歌麿館を指定管理者として運営している、(株)城川自然ロジックです。風の博物館・歌麿館では、季節ごとに企画展を実施しており、素晴らしい眺望の中、作品の数々をゆっくりとご覧いただけます。

風の博物館1階では『心に風を』をテーマとし、さまざまな風車や、風まつわる作品を常時展示しており、館外では風速15メートルを体感できる風洞実験機を常設しています。地下1階にはドラゴンコーナーとして、世界各国から集めた約1300点のドラゴン関係の逸

大洲市では市内に点在するさまざまな観光施設のサービスを向上させるため、指定管理者制度を導入してきました。このコーナーでは、施設と指定管理者を皆様にご紹介できるように、指定管理者からの声をお届けしていきます！

「心に風を」をテーマに、肱川の文化情報拠点構築に取り組みます！



【施設名】 風の博物館・歌麿館
【指定管理者】 株式会社城川自然ロジック

市内観光施設シリーズ企画
私たちが指定管理者です！

No. 7

品を展示しています。また、大ホールでは大洲市民のみならず、皆さんに楽しんでいただけるよう、コンサートや映画の上映なども予定しています。

歌麿館では、国内に現存する非常に貴重な歌麿版木3枚のうち2枚を常時展示しています。また、ロビースペースでは、「ひじかわ木版画教室」や「スケッチ教室」など、さまざまな教室を実施していく予定です。

現在、スタッフが市内山間部の遊びの空間や行事、見所をご案内できるように、「大洲山間部コンシェルジュ」の養成に取り組みんでいますので、市民のみならずのご来館を心よりお待ちしております。

所在地
大洲市肱川町予子林99番地1
☎02181



【おすすめスポット】
博物館から見える山々や鹿野川ダム湖の眺望は時の流れを忘れてしまいます。

【おすすめ商品】
歌麿の風呂敷や巾着袋、絵ハガキなど歌麿館ならではの商品を販売しています。

【イベントのお知らせ】
「永井恭平木彫画展」
(12月1日～3月6日)
「北斎・富嶽三十六景展」
(1月7日～3月31日)

【指定管理者からの耳より情報】

えひめ結婚支援センター

「ボランティア推進員」を募集しています！

センターでは、県下全域でこれまで500回以上の結婚支援イベントを開催し、1,900組以上のカップルが誕生しており、市内でもイベントを開催しています。このイベントや交際フォローを、ボランティアとしてお手伝いいただく「ボランティア推進員」を募集していますので、興味のある人はぜひご応募ください。詳しくはホームページをご覧ください。

説明会(大洲)の開催

【日時】 2月14日(月) 午後2時～4時

【場所】 リジェール大洲

※説明会に参加希望の人は、氏名・電話番号・会場名(リジェール大洲)をメールにご記入のうえ、お申し込みください。

【申し込みメールアドレス】 Office@msc-ehime.jp

【問い合わせ先】

えひめ結婚支援センター(愛媛県中小企業指導センター内)

☎089-933-5596(直通) FAX089-947-4251

http://www.msc-ehime.jp

あなたの声を県政に

県政モニター募集

県では県政に関するアンケートへの回答、県政に対するご意見・ご提言、県政の広報活動などを行っていただく県政モニターを募集しています。

【募集定員】 300人

【任期】 平成23年4月1日～平成25年3月31日

【応募資格】 満18歳以上の人(県内居住者や県内出身者など愛媛県にゆかりのある人。公務員を除く。)

【応募方法】 所定の応募用紙(県ホームページおよび市町、県の施設などで配布)に必要な事項を記入し、メール、郵送またはFAXにより愛媛県広報広聴課に提出してください。

【応募締切】 2月14日(月)必着

【謝礼】 モニター活動の状況に応じて図書カードを進呈します。

【問い合わせ先】

愛媛県広報広聴課 ☎089-912-2243

http://www.pref.ehime.jp/h12200/monita/monitatop.html

大洲のがんばる企業紹介⑦

本市には、より良い製品づくりを目指して研究・開発に取り組む企業が多く立地しています。これらの企業は、市民の暮らしを支え、市の活性化にも大きく寄与しています。このコーナーでは頑張る市内企業の事業活動や事業展開を紹介していきます。

◇所在地 大洲市菅田
◇電話 25-4450

(株)サンフーズ

～お客様のこだわりを一緒に形（製品）にします～

当社は、昭和57年に栗・竹の子などの農産物加工を中心に地元農協向け食品工場として設立しました。
平成9年にレトルト食品の製造を開始し、現在はカレー、パスタソース、鍋つゆの素などのソース・調味料類を中心に、茸類や釜飯の素、牛井など米飯関連商材を含めたレトルト食品（高度加工技術による長期間常温保存可能商品）、栗甘露煮やおこわ栗、天津甘栗（有機JAS取得）といった栗製品全般、また、冷蔵・冷凍製品、地元特産品の製造な



▲愛媛産の肉を使ったカレー



▲O級グルメ入賞「鮎つけ麺」

また、当社自身でも愛媛県内産や大洲産の食材を使用し、主要都市などのデパート、専門店にオリジナル商品の販売を行い、地域のPRに努力しています。
自然豊かなこの南予の地域には、個性的で美しい食材がたくさんあります。その特性を生かした加工を行い、お客様に満足いく食作りと地域貢献をこれからも行っていききたいと思えます。

また、当社自身でも愛媛県内産や大洲産の食材を使用し、主要都市などのデパート、専門店にオリジナル商品の販売を行い、地域のPRに努力しています。

ど「安心・安全・信頼」をモットーとして、業務用から小袋まで、さまざまなお客様のニーズにお応えするために日々研究開発に努めています。
販路は東京・名古屋・大阪・福岡といった主要都市のスーパー・コンビニ・生協を始め、量販がメインですが、最近では従来のユーザー様である商社や食材メーカーに加え、全国のこだわり食材の生産者などからの加工品製造依頼も増えてきており、スタイルとしては「地産地消」から「地産外消」のお手伝いをしていく企業です。



▲地場産物を活用した献立
餅麦ご飯、いもたぎ、じゃこかつ、柚子香和え、牛乳



▲給食の時間にはいつも笑顔があふれています

シリーズ食育 No.7

学校給食

大洲市では、「大洲市食育推進計画」に基づいて食育の推進を図っています。その活動の一環として食に関する情報を定期的に掲載します。
今回は、学校給食について紹介します。

現在、大洲市には3か所の共同調理場（大洲・肱川・河辺）と1か所の単独調理場（長浜中学校）があり、1日（最大）約4400食の給食を提供しています。

大洲市では、地産地消や食文化の継承に積極的に取り組んでいます。昨年11月から給食用のお米を100%大洲産米にしました。また、定期的に「いもたぎ」をはじめとする大洲の伝統的な郷土料理を、献立に取り入れています。

学校給食は「生きた教材」です。子どもたちに食物への関心や食べる喜び、食の正しい知識を身に付け、生きる力と豊かな人間性を育んでほしいと思えます。

伐採木提供・おおずの女性

肱川の伐採木を提供します

今回、肱川において立ち枯れ、倒木など管理上支障になっていたエノキ、ヤナギなどの伐採を行いました。以前は、中間処分場で炭やチップとしてリサイクルをしていましたが、コスト縮減および有効利用の観点から、伐採木の無償提供を行います。

みなさんのご協力により、処分費の削減が図られ、有効に予算の執行ができます。下記のとおり、2か所で無償提供を行いますので、ご自由に必要な量をその都度お持ち帰りください。札付けなどによる予約・置き置きなどの対応はできませんので、ご注意ください。

なお、積み込み・運搬は各自で行ってください。また、積み込み・運搬時の事故・トラブルなどについて、国土交通省では責任を持ちません。

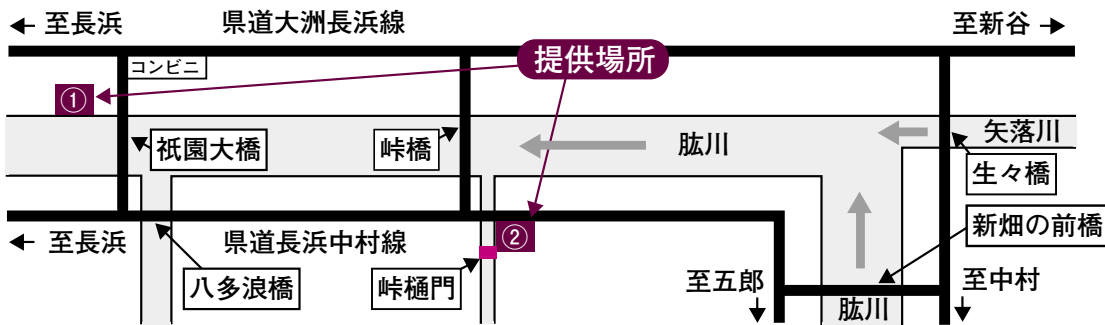
- 【提供場所】 ①大洲市多田（峠樋門上流すぐ）
- ②大洲市八多喜町（祇園大橋下流：堤防の民地側）

※提供場所に看板を設置しています。

【問い合わせ先】 国土交通省大洲河川国道事務所 肱川出張所 ☎25-4649



【提供期間】 2月1日～3月31日（伐採木がなくなり次第終了しますので、予めご了承ください。）



おおずの女性

おおず女性塾 活動報告

〜輝いてら〜

Vol.69

大洲市では、男女共同参画を推進するため、おおず女性塾を開塾しています。女性塾では1期あたり2年間の活動期間と定め、約20人の塾生が講座や先進地視察研修に参加しています。平成22年度は第9期生が2年目の活動を行っています。

今年度第1回講座では「心のバリアフリーについて」と題し、社会福祉課の職員の講話と手話通訳者による手話講座を行いました。限られた時間の中、慣れない手話に楽しくチャレンジしました。第2回講座では「地域に根ざした活動」をテーマに、「豊茂地区で活動するために、豊茂地区で活動したい」という活動の活動にまつての学習をしました。第3回講座では、大洲・長浜地域での視察研修を行いました。臥龍山荘、肱川あらし、望公園、長浜高校水族館や長浜大橋などを視察しました。

また、大洲市女性団体連絡協議会と合同で「第15回男女共同参画社会づくり推進県民大会」や「えひめ男女共同参画フェスティバル2010」に参加し、男女共同参画社会づくりの知識を深めました。1月16日(日)には、同じく大洲市女性団体連絡協議会と大洲市の共催で「男女共同参画社会づくりセミナー」を開催しました。今後もさまざまな講座を行っていく予定です。

平成23年度から活動を行う第10期生については、3月以降に募集する予定です。広報紙面上でもお知らせしますので、興味のある人はぜひご参加ください。



▲第1回講座で手話に挑戦

折りたたみマップ・トリアージ訓練・消防署からのお知らせ

折りたたみマップ

「味わい大洲」

が完成!



大洲の「おいしいもの」が大集合

大洲商工会議所が、市内の物産やお土産ものの情報を集めた折りたたみマップ「味わい大洲」を作成しました。大洲市内の物産を扱っている店舗や業者の情報が満載で、今まで気づけなかった「大洲の味」に出会えるかもしれません。また各店舗情報のほか、まちの駅「あさもや」や、たいき産直市「愛たい菜」などで購入できる商品や地方発送についての表示もあり、観光客だけでなく市民のみなさんにも便利なマップです。

市役所や観光案内所などで配布されていますので、ぜひお手にとってみてください。

災害に備えて

市立大洲病院でトリアージ訓練を実施

12月11日(土)、災害発生時に多くの傷病者を救命し、迅速な治療ができるように、第2回市立大洲病院トリアージ訓練が、大洲地区広域消防事務組合と合同で、市立大洲病院で開催されました。

トリアージとは、フランス語で選別という意味があり、集団災害における限られた人的・物的資源のなかで最善の医療を施すため、重症度や緊急度により治療優先度を決定することです。今回は、地震時や交通災害を想定し、傷病者の歩行、呼吸、循環、意識状態から重症者、中

等症者、軽症者に区分し、治療の優先度を判断するスタートル法を中心とした実施訓練を行いました。あわせて患者搬送、トリアージタッグの記録方法など災害医療の手順について確認を行いました。

災害医療現場では、災害遅延死(防ぎえる死)を防ぐことが目標になります。万一の災害医療に備えて、参加者は手順を確認しながら、真剣に訓練に取り組んでいました。

今後、まさかの災害に的確に対応できる体制を整えていくため、訓練を重ねていく予定です。



▲搬送法訓練



▲トリアージ実施訓練

消防署からのお知らせ

住宅の耐震化と家具の転倒防止

1946年に昭和南海地震が発生し、多くの犠牲者を出しました。

この南海地震は、100年から150年を周期に発生すると言われており、近年では南海地震の発生確率は30年以内に50〜60%とも言われています。

地震による死亡原因の多くは、建物の倒壊や家具の転倒によるもので、阪神淡路大震災では、約8割にも及びました。

そのため次のように、「住宅の耐震化や家具の転倒防止」に努める必要があります。

- 家具転倒による被害を防ぐポイント
- ・家具をL字型金具などで壁または柱に固定する。
- ・ガラス扉は、飛散防止フィルムを貼る。
- ・避難経路となる出入口付近には、物を置いたり積んだりしない。
- ・タンスの上など、高いところに物を置かない。

日本は、世界でも有数の地震大国です。

地震はいつ発生するか分かりません。そのため、日ごろから地震に対する備えが必要です。

